

1 目的

- (1) 日本の文化遺産である奈良・京都を訪れ、見学することによって、わたしたちの先祖が築いてきた日本の文化や歴史に対して理解を深め、伝統や文化を大切にすることを育てる。
- (2) 学校・地域から離れての活動を通して、互いの交流を深め、よりよい仲間づくりの場とする。
- (3) 事前・当日・事後の活動における学習やさまざまな企画・運営を通して、自身の手でやり遂げる力とともに自主性・創造性を養う。また、集団生活のきまりや公衆道徳を守る姿勢を育て、社会の一員としての自覚を深める。

2 見学地

京都・奈良

3 期間

平成30年5月16日(水)～18日(金) 【2泊3日】

4 日程とコース

< 16日(水) >		修善寺駅 集合5:15	
伊豆箱根鉄道		こだま697	
修善寺駅	三島駅	京都駅	法隆寺(昼食)
5:46	6:20/6:51	9:37/10:10	11:40
<お弁当積み込み>			
法隆寺(見学) = 薬師寺 = 奈良公園(東大寺大仏殿など見学) = 宿			
12:10~14:00	14:30~15:30	16:00~17:30(バスカイト)	18:45頃
宿「ホテルサンライン京都祇園四条」(連泊) 〒605-0831 京都市東山区清井町493-1			
TEL.075-532-0055			
< 17日(木) >		公共交通機関利用	
宿 ……<京都 班別グループ研修> ……宿 到着 夕食…			
8:30		17:00	17:30~18:30
宿 出発……体験学習(高台寺・座禅体験)……宿			
18:40	19:00 - 20:00	21:00頃	
< 18日(金) >			
サンライン祇園四条 — 北野天満宮(祈祷あり) — 金閣寺 — 龍安寺 — 嵐山散策(昼食)			
8時	8時30分~9時30分	9時45分	11時
			12時45分
こだま670 お弁当(新幹線車中)			
京都駅	三島駅	中伊豆支所	
15:00/15:59	18:45/19:00	20:00頃	

5 参加者

(1) 生徒 57名 男子31 女子26 (1組28名 2組29名)

(2) 引率教員 校長相馬美樹子、職員山田清直、荒川利津子、秋元一徹、山崎裕、養護教諭内田茂代、合計6名

6 服装・持ち物

- (1) 服装 … 通学時の服装(男女とも夏服)、ジャージ、私服(館内のみ着用)
- (2) 持ち物 … 館内の着替え(下着、ワイシャツ、靴下、ジャージ等)、タオル、ハンカチ、ちり紙、ビニール袋数枚、雨具(傘)、薬(普段常用しているもの)学習ファイル、しおり、筆記用具など

小遣い(15,000円まで、ただし、2日目の拝観料・交通費などは別)
時計、デジカメ(課題別班に1台)

7 緊急時の対応

- (1) 救急病院 京都第一赤十字病院 〒605-0981 京都市東山区本町15-749
TEL 075-561-1121

(2) 個人的問題発生の場合

- 旅行先の引率教員が保護者に連絡する場合 引率教員 → 保護者
- 保護者から旅行先の生徒・引率教員に連絡する場合、本部携帯 [070-1438-1197] 連絡してください。
 - ・修善寺駅出発前 (5:15) …保護者が電話連絡ではなく直接修善寺駅へ
 - ・旅行中の昼間 (8:00~18:00) …保護者 → 中学校 → 引率教員
 - ・旅行中の夜 (18:00~8:00) …保護者 → 宿舎

(3) 全体的問題発生の場合

- 引率教員 → 中学校 → 関係機関 (メール配信を利用して各家庭に連絡)
 - *特に生徒個人から家庭への連絡はとりません。
 - 携帯電話は禁止です。持たせないで下さい。**
 - (2日目の班別研修では、チェックポイントを設定し、緊急時に備えます。)**

8 指導上の基本姿勢

- (1) 修学旅行は、普段の学習の延長上に在り、またその学習をさらに発展させ、自分たちの発表の場であることを生徒に意識づける。
- (2) 修学旅行に関係がある教科の学習を事前にできる限り進める。
- (3) 総合的な学習の場として修学旅行をとらえ、個人やグループで課題を設け、事前事後を含めて課題追究の場とする。
- (4) 集団のきまり、公衆道徳を自覚し、責任と役割を十分に認識・実践させる。
- (5) 修学旅行に向けて、普段から班活動や学級活動を活発にし、友達相互の協力や和・親しみなど、人間関係を深める。
- (6) 事前の学習や修学旅行のさまざまな活動の企画・運営で生徒に任せられる部分は任せ、生徒一人ひとりの自主性やリーダー性を育てる。
- (7) あらゆる場面や時間で自己の健康や安全に気を配らせる。
- (8) 事前・事後指導 (学習・反省・まとめ等) の充実を図る。
- (9) 保護者との連絡を密にし、生活指導上の問題防止に万全を期す。
- (10) 修学旅行の位置づけ

修学旅行	総合的な学習	個人あるいはグループ、学級として課題を設け追究。 (世界遺産の調査、文化財を英語で伝える)
	教科の学習	社会科……歴史、文化、見学の重点の学習
		美術科……建築、彫像、仏教美術、庭園
		国語科……万葉集、古今集、「百人一首」紀行文集づくり
	道徳	英語科……英会話 家庭科……食文化、着物などについて
		秩序ある集団生活、集団生活の向上
学級活動	班・学級づくり、各委員会での活動 事前・事後の具体的な活動計画と実施	
学年の活動	旅行中の生活についての約束、生活の発表の場	

10 経費 (概算)

約 57,000円

修学旅行積立金	(1年4~7月) 2,000円 × 4ヶ月 = 8,000円
	(1年8~2月) 2,500円 × 7ヶ月 = 17,500円
	(2年4~2月) 3,000円 × 11ヶ月 = 33,000円
	58,500円

支出内訳

交通費	21,127円	携帯電話	-人あたり462円(16台) 1台1620円
宿泊費	27,000円(2泊)		
弁当代	2,160円		
拝観料	1,650円		
諸費費	2,269円		
企画料	2,710円		
合計	56,916円		

保険料 300円
 2日目 座禅体験 1000円
 3日目 クラス別研修 (拝観料、入場料) 2000円程度

(2) 個別研修費 個人負担となります。

2日目 班別グループ研修 (拝観料、入場料、交通費、昼食代等) **3000円から4000円程度**

(3) その他経費内容

資料代 (乗り物がト、地図・新聞原稿・ファル他) 等 学年費からの支出となります。

保険料・2日目の座禅体験・3日目のクラス別研修は、積立金または学年費からの支出となります。

11 事後指導

(1) 事後アンケートの実施

(2) 修学旅行のまとめ ・プレゼンテーション ・作文 ・色紙づくり

1 2 組織と活動分担

(1) 組織

団長・・・学校長 相馬美樹子

修学旅行実行委員会



* 4人班は班長・生活が二人(※班長が男(女)子の場合、副班長は女(男)子とする。)
5人班は班長・生活、宿泊・保健・食事が二人とする
○は、班長